

1 分析結果

(1) 質問項目について

- 今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策が求められ、学校生活における安心・安全により丁寧に対応してきたことから、質問項目も変更せず実施した。また、昨年度新設した本校で推進している「ICT教育」についての質問項目も継続して実施した。
- これまで学校評価は、保護者・教員アンケートと学部・校務分掌部の自己評価を行い、反省と改善を検討してきた。今年度も、保護者アンケートの内容と同じものを教員アンケートでも実施し、保護者と教員の意識のずれを確認できるようにした。

(2) 保護者アンケート

ア 本校について

- 全ての質問項目において「ア よくあてはまる」、「イ ややあてはまる」が一部を除き100%を達成しており、本校の教育目標と重点目標について、保護者から概ね高い評価を得られた。
- 「ICT教育」について保護者の期待度も高く、本校では概ね活用が図られていることが理解されていることが分かる。特に、欠席（入院）時でもオンラインで授業を行ったり、タブレット等を使って視覚的な分かりやすさを高めたりする授業での取り組みが評価されているものと思われる。その反面、「ウ あまりあてはまらない」が1名、「無回答」が2名となっており、さらに取り組みの様子等について、ホームページ等での情報発信を丁寧に行えるとよい。
- 安心・安全な教育環境についても高い評価を得ており、感染症対策や環境整備などの学校の対策に多くの保護者が満足していただいていることがうかがえる。
- 一昨年度新設した「いじめ」の質問については、1名が「ウ あまりあてはまらない」と回答しており、把握の難しさを常に意識しながら児童生徒の気持ちに寄り添った指導にあたるとともに、学校の取り組みについてもさらに発信できるとよい。
- 関係機関との連携については、コロナ禍ではあるが、交流及び共同学習等、工夫して取り組んできたことに多くの保護者が満足していただいていることがうかがえる。
- 自由記述では、本校への感謝を表す内容が多かった。また、完全バリアフリー化や学校看護師の勤務体制や待機日についての御意見が寄せられ、検討・改善できるよう努力していきたい。

イ おおるり分教室について

- 今年度も多くの保護者の方から回答を得ることができた。また、コメントも寄せられ、コメントのすべてが感謝を表す内容であったことも特徴的である。
- 本校と同じように、各質問項目で概ね学校の取り組みを理解していただいている結果となった。保護者や病棟との連携を図った指導については、2名が「ウ あまりあてはまらない」と回答しており、引き続き連携強化に努めていきたい。
- ICTに関する質問項目においては、「ア よくあてはまる」「イ ややあてはまる」の回答がほとんどであった。病状に応じた個別的な学習において、活用状況について保護者に丁寧に発信した結果と推測する。

ウ 教員アンケートについて

- 保護者アンケートと比較すると、「ア よくあてはまる」、「イ ややあてはまる」を含めると一部を除き100%を達成しているが、全体的に「ア よくあてはまる」と回答している割合が昨年度に比べて下がっており、今後検証していきたい。
- ICTとホームページ掲載については、教員の扱う機会に個人差があるが、「ア よくあてはまる」、「イ ややあてはまる」を含めると98%を達成し、教員一人一人が意欲的にスキルを身に付け、教育活動に活用している顕著な現れと言える。
- 児童生徒の気持ちに寄りそった教育活動については、「気持ちに寄りそった」の解釈について、児童生徒の実態等を把握し、十分共通理解したうえでの指導について確認できる場がもてるとよい。
- 保護者と教員の意識のずれを計るために教員アンケートを実施したが、保護者アンケートのICTに関する質問項目結果に「無回答」があり、若干差がみられたものの極端な意識のずれは生じておらず、概ね保護者と教員の理解が一致する結果となった。
- 自由記述では、教育目標や重点項目等について様々な御意見をいただき、引き続き共通理解を図りながら丁寧な教育活動を行っていくのと同時に、関係医療機関との在り方についても、安心・安全に配慮しながら連携体制の構築に努めたい。

(3) 自己評価（学部・分掌部）

- 各学部、各分掌部ごとに、今年度の校務運営計画の中から一項目を抽出しての評価であるが、ほぼ全ての項目で「A 達成できた」、「B 概ね達成できた」となり、目標は概ね達成されているという結果となった。
- 教務部の日々の指導に研修の内容を活かしているかについては、「未回答」が9%あり、さらに引き続き実践的な研修がもてるとよい。
- 学習指導部のICT機器を活用した学習指導の充実については、昨年度に比べICTに関する教員のスキルアップもあり、様々な学習活動に効果的な活用が進んでいるものと推測する。

2 改善策

- アンケートの質問項目については、次年度の教育目標と重点目標に沿った内容への見直しを行いつつ、経年変化を捉えることで課題を見いだし次年度の改善策を打ち出していく必要がある。
- 今年度も保護者と教員の意識の差を計ったが、保護者のニーズをとらえていくためにも今後も継続していく必要があると思われる。
- 新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策については、病弱教育を担う本校として、引き続き十分な対応が求められる。また、避難訓練や安全指導等、自分の身を守るための系統的な指導に努め、さらに安心・安全な教育環境作りを推進して必要がある。
- ICTを活用した学習指導や遠隔教育など、引き続き教員の実践的な研修や情報共有の機会を確保するとともに、ホームページ等の情報発信についてもさらに取り組みを充実させ、本校の教育活動について保護者が十分理解できるよう努めていきたい。